

保護者各位

「自己評価のご報告」

日頃より当園の運営にご理解、ご協力をいただきまして心より感謝申し上げます。
早いもので今年度も残りわずかとなり、これまでを振り返りながらお子さまたちが様々な経験を通して大きく成長した姿を目の前に職員一同、とても嬉しく思っております。

コロナ禍が続き登園自粛や臨時休園措置となり、ご不便をおかけすることもございましたが、皆さまのご協力のもと迅速に感染拡大防止への対策をとることができましたことを御礼申し上げます。

今後も当園をご利用される皆さまの安心・安全を第一に考え、より良い園運営に繋がられるよう努めてまいりたいと思います。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただきます、ここにご報告申し上げます。

1.保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビー東越谷園		回答率:76.47%		
No	質問項目	はい	どちらとも いいない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	46.15%	46.15%	7.69%
2	職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	92.31%	7.69%	0.00%
3	職員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか	92.31%	7.69%	0.00%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	84.62%	15.38%	0.00%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	76.92%	15.38%	7.69%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	84.62%	15.38%	0.00%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	76.92%	23.08%	0.00%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	84.62%	15.38%	0.00%
9	当園に満足されていますか	76.92%	15.38%	7.69%

項目1) 当社の保育理念・保育目標について理解していますか

こちらは半数以上の方が「いいえ」・「どちらでもない」とご回答されており、ご利用される皆さまへ当園で取り組んでいる保育の在り方を分かりやすく伝達できていなかったと深く反省しております。

当社の掲げる理念として、日々の丁寧な関りによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め将来、国際社会で活躍できる子どもを育てる。という理念がございます。

理念達成に向けて一人ひとりのお子さまの個性を大切にしながら、お子さまたちの豊かな成長のために必要とされる「ていねいな保育」を行うことを共通の認識として取り組んでおります。

この度の自己評価を通して当園の保育目標を発信するとともに、日頃どのように取り組んでいるのかを今後は保護者さまへも分かりやすく共有できるように工夫していきたいと思っております。

項目2) 職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか

こちらは9割以上の方に「はい」とご回答いただきありがとうございます。

今後も全てのお子さまたちの気持ちに寄り添った関わりができるように、保護者の皆さまにも安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。

何か気になる点やご不安に感じたことなどございましたら、お声かけいただけましたらと思っております。

項目3) 職員の言葉遣いや態度、服装等は適切ですか

こちらは9割以上の方に「はい」とご回答いただきましたが、僅かですが「どちらともいえない」とご回答された方もおり、一部の方にご不安を与えてしまった点については申し訳なく思っております。

職員の服装や言動において何か気になる点などございましたら、ご意見をお伺いさせていただいた上で改善に努めたいと思っております。

今後も保護者の皆さまが気持ちよく当園をご利用いただけるように、社内の姿勢目標を守りながら業務に取り組めるように指導してまいります。

項目4) 保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか

こちらは2割弱の方からは「どちらともいえない」という評価となり、一部の方に不快感を与えてしまっていたことを深く反省しております。

毎日、保育室やトイレの清掃・消毒、玩具の消毒等を徹底しておりますが、改めて全ての保育室内を見直し、整理整頓の部分では改善が必要だと感じました。

限られた収納スペースをいかに有効に活用し、また外部から見ても気持ちよく整理できる

かを考え、物の配置を工夫していきたいと思います。またお子さまたちが使っている玩具につきましても、玩具棚の配置を分かりやすく「使ったら所定の場所にもどす」片付けの習慣が身につくようにしていければと考えています。

項目5) 安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか

こちらは7割以上の方に「はい」とご回答いただきましたが、「いいえ」・「どちらともいえない」とご回答された方が2割弱となり、安全対策や感染症対策においてご不安を感じていらっしゃる方もいるという結果となり猛省しております。

今年度は新型コロナウイルス感染症による登園自粛や臨時休園などご利用の皆さまにも感染拡大防止へのご協力をいただき心より感謝しております。

その他、胃腸炎や手足口病なども園内で発生しご心配をおかけし申し訳ございませんでした。

集団生活の場である保育園において「感染症発生0」は難しいですが、感染拡大を防ぐための対策として園職員のみならず、保護者の皆さまのご協力も必要となってきます。

日々のお子さまの体調管理、時期ごとに流行しやすい感染症の情報共有を行いながら、病気の早期発見・治療に繋がるように努めてまいります。

引き続き保護者の皆さまのご理解とご協力を賜れますと幸いです。

項目6) お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか

こちらは8割以上の方に「はい」とご回答いただき、ありがとうございます。しかし、2割弱の方が「どちらともいえない」とご回答されていたため今一度、職員間で話し合いながら、お子さまの体調不良時、怪我をしてしまった時の処置や保護者さまへの伝達方法の見直しを図る必要があると感じています。

お子さまが体調不良や怪我をしてしまった時は、いつも以上にご不安を感じてしまうものです。これまで以上に保護者さまに分かりやすく、ていねいな対応ができるようにしていきたいと思います。

保護者さまにおかれましても、職員の対応などで何か不明点や気になった点がございましたら園長までお知らせいただけましたらと思います。

項目7) 保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか

こちらは7割以上の方に「はい」とご回答いただきましたが、今後もお子さまたちにとって「安心安全・おいしい・楽しい」食事を目指し、全ての保護者さまにご満足いただける食事の提供を目指していきたいと思っております。

そのためには調理担当者と保育者間でお子さまの食事の様子を共有し、苦手な食材の克服や食べたことのない食材に対する興味に繋がられるように年齢ごとの食育カリキュラムを

通してお子さまたちに「食べることの楽しさ」を伝えていけたらと思います。

項目 8) 不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか

こちらについては 8 割以上の方に「はい」とご回答いただき嬉しく思いますが、2 割弱の方からは「どちらともいえない」という評価となり、一部の保護者さまにご不安を与えてしまった点については申し訳ない気持ちでいっぱいです。

この度の評価を真摯に受けとめ、ご意見やご要望を受けた際の対応の見直しを行うとともに上司への迅速な報告を徹底し、保護者さまが相談しやすい雰囲気づくりを心がけながら日々対応にあたるように職員を指導してまいります。

項目 9) 当園に満足されていますか

7 割以上の方に「はい」とご回答いただいておりますが、今回「どちらともいえない」・「いいえ」とご回答された方もいらっしゃいました。

当園をご利用される皆さまにご満足いただけるように、改善すべき点については保護者さまのご意見も頂戴しながら対応してまいりたいと思います。

今後も利用者満足度 100%を目指し、お子さまにとって安心できる場所、楽しみながら学べる場所となるように精一杯、取り組んでいきたいと思っております。

2. 職員自己評価に関して

現状に満足することなく職員一人ひとりが楽しみながらスキルを磨き、保育の質向上に繋がられるように、これまでの 1 年の振り返りと今後の取り組みについて、以下にご報告申し上げます。

・当社姿勢目標の順守に関して

- * 困難なことに自ら取り組む
- * 報連相の徹底
- * 得意分野の深化
- * 規律の順守
- * 安心・安全な労働環境の確保

上記が当社姿勢目標となっており、社内ルールを守りながら日々の業務に取り組んでまいりました。特にチームワークを高める上で欠かせない毎日の挨拶は互いに気持ちよく挨拶できるように各自が意識して取り組んでいたと思っております。

今後の課題としては、職員一人ひとりの得意な分野を把握し、その能力を伸ばしていけるように効果的なサポートを行うこと、職員間の報連相を徹底して日々の保育や保護者さまに対して一貫性をもった対応ができるようにしていきたいと思っております。

- ・ コドモンを用いた保育計画に関して

昨年7月よりコドモンアプリへ移行し連絡帳の他、保育カリキュラムの管理もデータ上で行っております。連絡帳の確認、毎日の活動内容の記録などスマホやタブレットで確認・入力が可能なため職員間の情報共有もスムーズになったと思います。

今回、年度途中の移行だったこともあり、一部の保育書類は紙ベースとなっておりますが、新年度4月からは完全移行を目指しております。

これまで紙で配布させていただいていた毎月の園だよりや献立表などもコドモン配信を予定しております。保護者アプリの【お知らせ】もしくは【資料室】機能よりご確認くださいいただけるようになるため大変便利です。

- ・ 保育の成果集(Libro)に関して

Libroとは日々の保育の中で、子どもの成長に繋がる成果を記録し園社内で共有するためのシステムとなっており、①その時の場面 ②環境設定 ③保育手順 ④今後の課題を記録し共有することで互いの保育スキルを高め合い、子どもの発達へ繋がるための効果的なアプローチ法の「引き出し」を多くもつことで、保育を豊かにすることをねらいとしております。

日々の慌ただしさの中で「記録をとる」ということが習慣となっていなかった点については反省しております。毎日の保育の中で子どもたちの成長の瞬間は多くあり、それを忘れないようにメモをとり、Libroでの共有ができるように意識づけできればと思っております。

日々、自身の保育を振り返るということは保育者にとっても大切なことです。保育を通して「子どもの成長・感動の瞬間」を楽しみながら各自のスキル磨きが継続されるようにしていきたいと思っております。

- ・ 子どもとの正しい接し方(Luce)に関して

当社では保育と子どもの発達に関する研究を通してイギリスで開発された保育プロセスの質評価スケールをLuce(ルーチェ：イタリア語で光という意味)と名付け、月ごとに保育者一人ひとりが自身の保育を振り返るためのチェックシステムを導入しております。子どもの発達により良い効果のある「正しい接し方」ができたかを振り返りながら翌月へ活かすための考察を行うためのものですが、職員へ報告してもらった以降のフィードバックが十分にできていなかったため、職員ヒヤリングやミーティングなどを通して客観的な評価ができていないかを見極め、各自の能力向上に繋がられるようにしていきたいと思っております。

3.園としての自己評価に関して

- ・当社（全園共通）の保育理念（国際人を育成する）に関して

乳幼児期という人格形成がなされる重要な時期において、健全な生活習慣の形成を促し、自他ともに認めながら互いに尊重し合える関係性を築いていく。その過程の中で様々なことに出会い、体験をすることで困難なことにも挑戦しようとする力・乗り越えようとする力を育むことを大切に考えております。

「健全に生きるための力」の土台をつくり、お子さまが将来、国際社会で活躍できる人材となるように保育を行うことを理念としております。

今回のアンケート結果において、当社の保育理念について保護者さまへも十分な共有ができていなかった点を反省し、今後は園内掲示のみならず日々の保育の中で具体的な取り組みが伝わるような工夫をしていけたらと考えています。

- ・当園の保育目標に関して

全園共通の保育理念達成へ向けて当園独自で掲げている保育目標について以下にご紹介させていただきます。

◆食育目標

≪ 0 歳児 ≫

- ・保育者との信頼関係の中で喜んで食べる
- ・身近な野菜を見たり、触れたり、嗅いだりし食べ物に興味をもつ
- ・食べ物に興味を示し喜んで食べ心地よい食事の時間を味わう
- ・スプーンを使って食べようとしたり、簡単な食事のあいさつを覚えたりする

≪ 1 歳児 ≫

- ・保育者や友だちと楽しい雰囲気の中で自ら食べようとする
- ・安定した生活リズムで体を十分に動かして空腹感を感じる
- ・咀嚼、食事のマナーを徐々に覚え、友だちと一緒に食事のあいさつをする
- ・園で野菜を育てたり身近な野菜に触れたりしながら味わうことで食事に興味をもつ

≪ 2 歳児 ≫

- ・楽しい雰囲気の中、保育者や友だちと一緒に食事をする
- ・正しい姿勢やスプーンの持ち方、食事の前後のあいさつなどが習慣づき食事のマナーを覚える
- ・野菜の栽培などを通して色々な食材に触れ、収穫する喜びを感じる

◆体育(+睡眠教育)目標

≪ 0 歳児 ≫

- ・好きな玩具を見つけて音を鳴らしたり、動かしたりして遊ぶことを楽しむ

- ・ハイハイ、つかまり立ち、伝い歩き、歩行など一人ひとりの発達に応じて活発に体を動かして遊ぶ
- ・落ち着いた雰囲気の中で安心して眠る

≪1歳児≫

- ・様々な遊びを通して体を動かすことを楽しむ
- ・全身を動かして色々な遊びを楽しみ、体力・運動能力をつけるための土台をつくる
- ・戸外遊びや散歩を通して「暑さ」「寒さ」を肌で感じる
- ・全身を使った遊びや探索活動を存分に行いながら安定した歩行ができるようになる
- ・午前中の充実した活動、昼食後の満腹感から安心して眠る

≪2歳児≫

- ・戸外で全身を使った遊びの中で運動能力を高め、柔軟な体をつくる
- ・落ち着いた雰囲気の中で、様々な卓上遊びを楽しみ指先が発達する
- ・保育者に見守られながら自ら布団に入り、安心して眠ろうとする

◆知育目標

≪0歳児≫

- ・玩具や形のあるものを手で触ったり、握ったり、口に入れたりして感触を楽しむ
- ・自分の思いを喃語や身振りで伝えようとする
- ・手先を使った遊びを楽しむ
- ・自分の意思や欲求を泣いたり、笑ったりすることで表現しようとする

≪1歳児≫

- ・好奇心や自らやりたいという気持ちを育てる
- ・話しかけられることで発語が促され、言葉を使うことを楽しむ
- ・様々なものを体と心の両方で感じとる経験を重ねる
- ・手先、指先を使った遊びを存分に楽しむ

≪2歳児≫

- ・身の回りのことに興味をもち、自ら行動しようとする意欲を高め、基本的な生活習慣を身につける
- ・生活の中で身の回りの物の名前や簡単な数・形・色などがわかり、言葉にしながらか保育者や友だちとの会話を楽しむ
- ・甘えや自己主張を受けとめてもらいながら、自分の気持ちを安心して表現する

◆徳育目標

≪0歳児≫

- ・保育者や身近な人に関心をもち、親しみをもって関わる
- ・保育者とのスキンシップを楽しむとともに心地よさを感じる

- ・保育者や友だちと一緒にいる中で親しみや安心感を得る

≪1歳児≫

- ・安定した生活リズムで過ごし、身の回りのことなど自ら取り組もうとする気持ちが芽生える
- ・友だちに関心をもち関わろうとする中で、優しい思いやりの気持ちを育む
- ・あいさつを言葉や動作で表現できるようになり、相手との言葉のやり取りを楽しむ

≪2歳児≫

- ・相手の気持ちを考えることや自分の気持ちを伝えられるようになる
- ・友だちと楽しく関わる中で、順番や決まりなどのルールがあることを知る
- ・生活の中で認めてもらったり、褒めてもらったりしながら自分に自信をもって行動できるようになる

◆SDGs(自然環境保護教育・人権教育目標)

≪全クラス共通≫

- ・あいさつや簡単な決まり事など社会に必要なマナーを身につける
- ・保育者も子どもも電気の「つけっぱなし」水の「だしっぱなし」をなくす
- ・廃材(空き箱・ペットボトル等)を利用した手作り玩具をつくり、その玩具で楽しく遊ぶことで資源の有効活用法について学ぶ
- ・子どもたちと一緒に植物を育てることで緑の大切さを伝える
- ・食育に取り組み、バランスの良い食事を通して食べることの大切さを学ぶ
- ・手洗いの際の適切な水と石鹸の量を知り、無駄遣いを減らしながら資源・環境を大切にすることを意識を育む

以上が当園の掲げる保育目標となっております。目標達成に向けて具体的に取り組むことを明確にしつつも、目の前のお子さま一人ひとりに応じた「ていねいな関わり」を大切に、型にはめない「子どもの可能性を引き出す保育」を行っていきたいと思います。

今後どうぞよろしくお願ひ申し上げます。